

一緒に「一枚」「二枚」

落語会とカフェ 柳若さん「皿屋敷」に大喜び



落語会とカフェの催しが8月24日にありました。館の区民自主事業運営委員会の主催です。

聴いたのは小学生5人を含む44人。噺家(二つ目)の春風亭柳若(りゅうじゃく)さんが、古典落語の「皿屋敷」(お菊のパロディー)を約30分にわたり披露しました。

子どもたちはお菊の幽霊が皿を数えるところで一緒に声を上げて大喜び。係の人に止め

られるほどでした。その後ボランティアさんが用意してくれたコーヒー、紅茶とマドレーヌ、クッキーを楽しみました。

参加した鹿島正之さん(94)は「幽霊の手つきがうまかった。話のオチが面白かった」。カフェのボランティアをした加藤貴子さんは「おいしいの一言がうれしくて、またやりたいです」と話していました。

(記事・写真=江上二三雄さん)